

個人情報に記載された訪問看護指示書の誤郵送について

このたび、当センターにおいて、患者の個人情報が記載された訪問看護指示書を誤郵送するという事案が発生しました。

このような事態を招きましたことをお詫び申し上げますとともに、再発防止に取り組んでまいります。

1 書類に記載されていた個人情報

患者氏名、患者生年月日、患者住所、患者電話番号、患者 ID、診療情報

2 事案の経過

令和7年8月22日（金）

- ・医師より患者の訪問看護指示書が医事グループに届き、委託職員が集約していた返信用封筒の束から誤って訪問看護ステーションBの封筒を抜き出し訪問看護指示書を封入し郵送した。

令和7年8月27日（水）

- ・訪問看護指示書を受け取った訪問看護ステーションBから依頼していない患者の訪問看護指示書が送られてきたとの連絡を委託職員が受けたことにより誤送付が発覚し、委託職員は謝罪した。

令和7年8月29日（金）

- ・患者には、委託職員より電話で事情を説明するとともに謝罪し、了承を得られた。

3 誤交付の原因

委託職員が訪問看護指示書の事業所名と返信用封筒の宛名の確認を怠ったため。

4 再発防止策

○委託業者に対し、以下の点を指示。

- ・訪問看護指示書を送付する際は返信用封筒の宛名が指示書と同じか、複数人によるダブルチェックを行う。
- ・上記対応に伴う個人情報を取り扱う際のダブルチェックのフローの作成。（マニュアルの作成、提出及び院内共有の実施）

以 上